

令和 7 年度 在宅医療連携推進事業における （在宅医療・介護連携推進事業、在宅医療連携拠点事業） 健康局の取組について

令和6年度の取組

1. 事業の進捗管理

(1) 評価指標での進捗管理

大阪市在宅医療・介護連携推進事業に関する医療施設等アンケート調査を実施し、現状分析するとともに、課題を抽出する（資料3にて報告）

(2) 区役所・相談支援室への取組調査からみる事業の進捗管理

区役所・相談支援室への取組調査を年2回実施し、各区の進捗状況を把握する（資料1・2にて報告）

2. 広域連携の仕組みづくり

(1) 基本保健医療圏域ごとの多職種研修会の開催

(2) 11月をACP強化月間として全区で取組み、市民へのACPの普及啓発を推進する

(3) 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」活動報告会の開催

3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

(1) 区役所への支援

(2) 相談支援室への支援

(3) 区役所と相談支援室への支援

2. 広域連携の仕組みづくり

(1) 多職種研修会（基本保健医療圏域ごとに開催）

目的：区域を越えた専門職の連携の強化

さまざまな職種の専門職が職種を越えて交流し、その職種ならではの視点・役割・重要性を知る機会とする

内容：第1部 基調講演、第2部 名刺交換会と情報交換会

【北・西ブロック】

北区、都島区、淀川区、東淀川区、旭区、福島区、此花区、西区、港区、大正区、西淀川区

日程：令和6年7月22日（月）

「アドバンス・ケア・プランニング—患者の意向を尊重した医療・ケアのために—」

（参加者数 120人）

【東・南ブロック】

中央区、天王寺区、浪速区、東成区、生野区、城東区、鶴見区、阿倍野区、住之江区、住吉区、東住吉区、平野区、西成区

日程：令和6年7月31日（水）

「多職種で取り組もう！人生会議（ACP）」

（参加者数 141人）

(2) 市民への人生会議 (ACP) の普及啓発

目的：大阪市全体として人生会議 (ACP) の認知度を向上させる

① 11月を人生会議 (ACP) 強化月間として全区での取組を支援

② 局主催の人生会議 (ACP) 普及啓発セミナー

日程：令和6年10月22日 (火)

内容：講義・VR体験 (救急医療における心肺蘇生、生きとし生けるもの)

グループワーク

(参加者数 99人)



③ ホームページの作成、ポスターの作成と掲示



【掲示期間】 令和6年11月中

《地下鉄駅》主要 22駅 専用掲示板に掲示

新大阪、淀屋橋、本町、なんば、天王寺、なかもず、大日、太子橋今市、天神橋筋六丁目、東梅田、天満橋、谷町九丁目、喜連瓜破、住之江公園、大阪港、堺筋本町、野田阪神、日本橋、天下茶屋、大正、蒲生四丁目、ポートタウン東

《わが街Navi (デジタルサイネージ)》

イオンモール大阪ドームシティ内

人生会議 (ACP) してませんか?

人生会議 (ACP) とは

ACP 人生会議

人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか

人生の終わりで、あなたは、どのように、過ごしたいですか?

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアなど自分で決めたい望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

自分が希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって前もって、周囲の依頼する人たちに話し合い、共有することが重要です。

人生会議 (ACP) の進め方

(1) 考える
あなたが大切にしていることは何ですか?

(2) 選ぶ
あなたが信頼できる人は誰ですか?

(3) 話し合う
信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか?

(4) 共有する
話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか?

自身の状態に応じて意思は変化することがあるため、何度でも繰り返し考え話し合うことを習慣づけましょう。

人生会議 (ACP) リーフレット

人生会議ってなんだろう?? (PDF形式 5.60MB)

CC (クリエイティブ・コモンズ) ライセンス におけるCC-BY4.0 で提供いたします。

(3) 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」活動報告会（市内・府下事業関係者対象）

目的：切れ目のない在宅医療・介護サービスの提供体制の構築のため、相談支援室の周知を図り、広域的な医療・介護関係機関との連携推進を促進する

日程：令和7年2月27日（木）

内容：第1部 特別講演

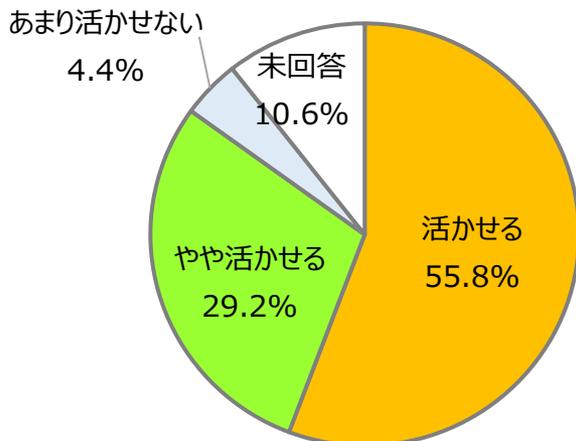
「今後の在宅医療・介護連携推進事業の深化を探る
～在宅医療の現場から見た在宅医療・介護連携の未来予想図～」
(参加者数 137人)

第2部 大阪市内「在宅医療・介護連携相談支援室」の活動報告

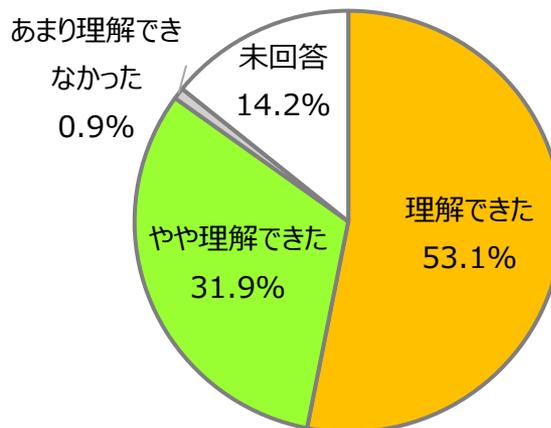


<アンケート結果> アンケート回収 113人（回収率82.5%）

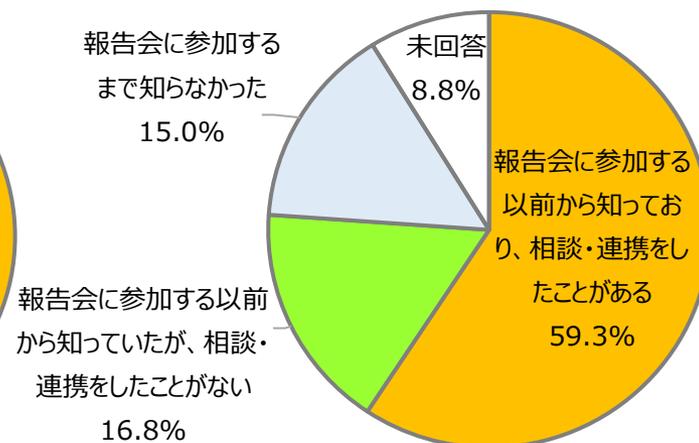
第1部業務への活用度



第2部活動報告の理解度



相談支援室の認知度



【参加者の感想】

- ・改めて在宅医療とは長生きすることではなく、「その人らしく」生きることであり、その人らしくというのは、役割を持ちながら、生活を楽しむことや選択できること、ということ学びました。医療と介護の壁があるのは、双方で課題は異なること、病気の回復は難しくても工夫次第で可能になることもたくさんあるのが在宅医療の強みであるため、などよく理解できました。考え方は異なっても、その人らしくを大切に、今後支援していきたいと強く思いました。
- ・地域力の向上の深化とともに、ACP・BCPの充実も図っていけるのだろうと感じました。
- ・各区の取組みがよくわかり、区ごとの状況も把握できる良い機会でした。
- ・コーディネーターが地域を良く把握され、地域課題の解決のための活動をしている点が非常に感心しました。

3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

(1) 区役所への支援

①在宅医療・介護連携推進事業 区担当者等説明会

目的：本事業の概要や各区役所、各区相談支援室及び健康局の役割と連携体制について知識を深めるとともに、各区の取組を情報共有することにより、より一層事業への理解を深め、地域での連携を推進する。

日程：令和6年4月22日（月）

内容：『在宅医療・介護連携推進事業、在宅医療連携拠点事業の進め方について』
『区担当者間の情報共有（グループワーク）』 （参加者数 42人）

②区役所への個別支援

- ・取組調査等により現状と課題を把握し、必要な区へ個別支援実施 4区
- ・電話等において、適宜相談支援

(2) 相談支援室への支援

①在宅医療・介護連携推進事業

- ・在宅医療・介護連携支援コーディネーター連絡会

（令和6年4月22日、7月31日、9月30日、10月28日、令和7年3月24日）

②在宅医療連携拠点事業

- ・在宅医療連携拠点事業 コーディネーター説明会 (令和6年5月16日、5月17日)
- ・在宅医療連携拠点コーディネーター連絡会 (令和6年7月22日、7月31日)
- ・在宅医療連携拠点コーディネーター情報交換会 (令和7年1月16日)

③相談支援室への個別支援

- ・相談支援室への訪問 23区
- ・電話等において、適宜相談支援
- ・新任コーディネーターへの支援

(3) 区役所及び相談支援室への支援

①区担当者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会

目的：地域の医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な医療と介護を一体的に提供できる体制を構築するため、区担当者や在宅医療・介護連携支援コーディネーターのスキルアップを図る。

第1回：令和6年4月22日（月）

『医療・介護は令和6年度どう変わる？』 (参加者数 73人)

第2回：令和6年11月29日（金）

『在宅医療・介護連携推進のための地域診断

～評価の視点を踏まえた事業推進～』 (参加者数 48人)

令和6年度の取組から見た課題

1. 事業の進捗管理

- ・医療側アンケートを実施し、現状把握・課題整理を行ったが、介護側については実施できていない
- ・24区の区役所・相談支援室への取組調査からみる事業の進捗状況にバラツキがみられるため、引き続き各区の取組状況を把握する必要がある

2. 広域連携の仕組みづくり

- ・多職種・多機関と連携できる機会を提供することで、区域を超えた専門職の更なる連携の強化が必要である
- ・連携で困ったときに相談できる窓口として相談支援室の周知が必要である
- ・人生会議（ACP）の名前も内容も知らない市民や専門職に対し、人生会議（ACP）の更なる普及啓発が必要である

3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

- ・事業が複雑で専門性が高く、区担当者やコーディネーターの交代による事業継続が難しい

1. 事業の進捗管理

- ・大阪市高齢者実態調査において、介護側の現状を把握する
- ・区役所、相談支援室への取組調査を年2回実施し、各区の進捗状況を把握する

2. 広域連携の仕組みづくり

- ・基本保健医療圏域ごとの多職種研修会の開催
- ・11月をACP強化月間として全区で取組み、市民へのACPの普及啓発を推進する
- ・大阪市「在宅医療・介護連携推進事業」活動報告会の開催

3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

- ・区役所への支援
在宅医療・介護連携推進事業、在宅医療連携拠点事業 区担当者説明会の実施
区役所への個別支援・具体的アプローチに対する支援
- ・相談支援室への支援
新任コーディネーターの人材育成と相談支援室間の相互連携を支援
- ・区役所と相談支援室への支援
区役所担当者、コーディネーター合同研修会の開催

2. 広域連携の仕組みづくり

市内基本保健医療圏域ごとの多職種研修会

開催予定

【内 容】 基調講演とグループワーク

北・東ブロック【日程・場所】 令和7年7月30日（水）14時～17時 中央区民センター

『救急医療と在宅医療・介護の繋がり』

社会医療法人有隣会 東大阪病院 副院長 救急科部長 前島 健志 氏

西・南ブロック【日程・場所】 令和7年8月4日（月）14時～17時 西成区民センター

『超急性期病院から地域二次救急病院に場所を移して、

救急、重症患者と在宅医療について考える』

医療法人寺西報恩会 長吉総合病院 顧問 地域連携室長 嶋岡 英輝 氏

市民への人生会議（ACP）の普及啓発

開催予定

人生会議（ACP）普及啓発セミナー

【日 程】 令和7年10月予定 【内 容】 講義・VR体験・グループワーク

大阪市 在宅医療・介護連携相談支援室活動報告会

開催予定

【日 程】 令和8年2月予定

【内 容】 大阪市「在宅医療・介護連携相談支援室」の活動報告

3. 区役所・相談支援室に対する積極的支援

区役所への支援

在宅医療・介護連携推進事業、在宅医療連携拠点事業 区担当者説明会

日程：令和7年5月26日（月）

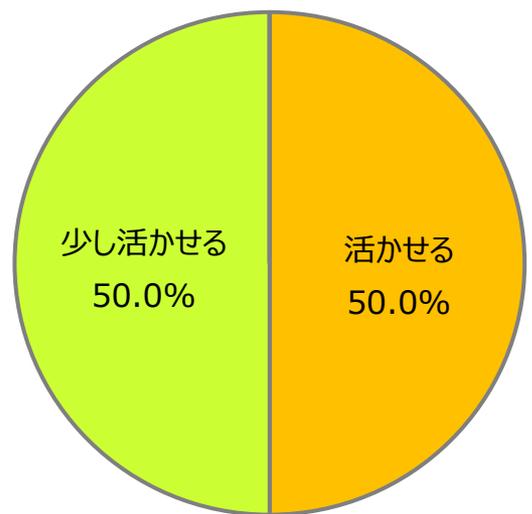
内容：『在宅医療・介護連携推進事業、在宅医療連携拠点事業について』

『もしバナカードゲーム体験』 もしバナマイスター 大中 湖月 氏

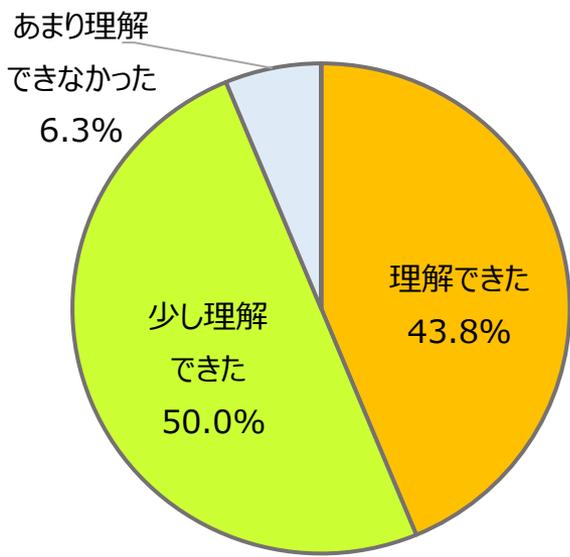
参加者：区担当者33人（職種内訳：事務職等20人、保健師13人）※新任23人

＜アンケート結果＞ アンケート回収 32人（回収率 97.0%）

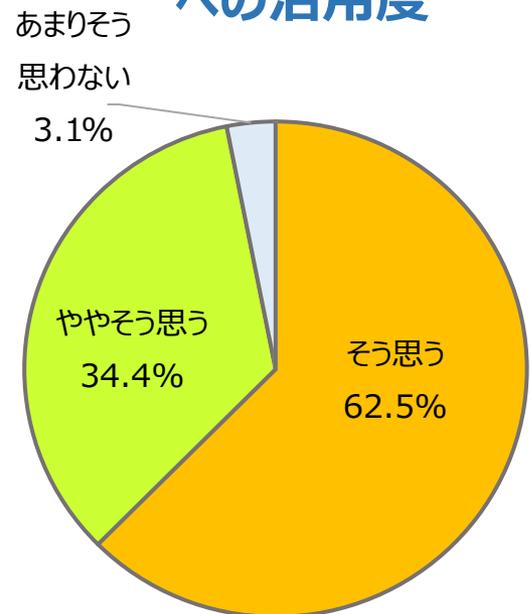
業務への活用度



事業の進め方への理解度



もしバナカード体験の業務への活用度



区役所

取組調査等より現状と課題を把握し、必要な区へ個別支援実施

【期 間】 令和7年5月～（適宜実施）

相談支援室への支援

【新任コーディネーターへの支援】

- ・健康局より事業の概要を説明 令和7年4月24日（木）

【コーディネーターへの支援】

- ・適宜コーディネーター連絡会を開催し、トピックスの提供やコーディネーター間の情報共有を実施

相談支援室

24区相談支援室へ訪問（研修会等の見学含む）

【期 間】 令和7年5月～

【内 容】 令和6年度の取組状況、課題や困りごと、今年度の取組、区役所との連携について

区役所及び相談支援室への支援

第1回 区役所担当者、コーディネーター合同研修会

日程：令和7年5月26日（月）

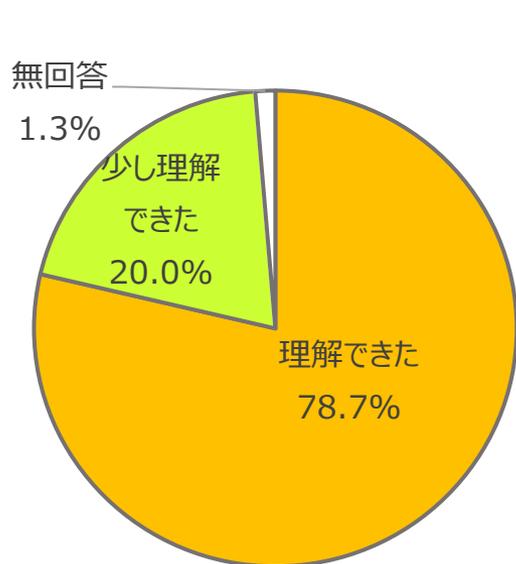
内容：取組報告『多職種で取り組む食支援』

西淀川区南西部地域包括支援センター 上原 砂余子 氏
『区担当者とコーディネーターの情報共有（グループワーク）』

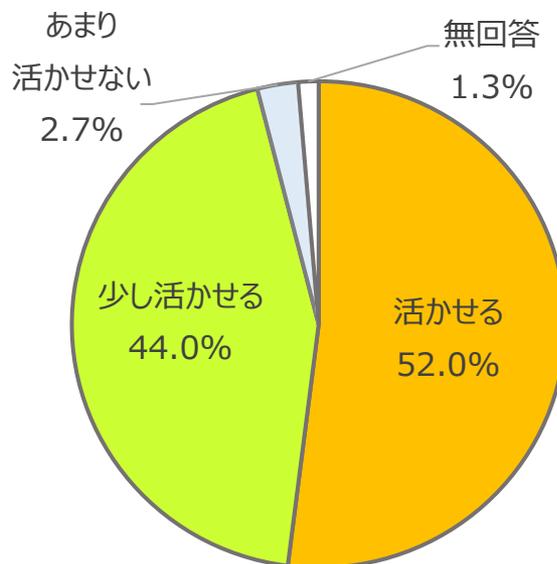
参加者：77人（区担当者 34人 コーディネーター 43人）

＜アンケート結果＞ アンケート回収 75人（回収率 97.4%）

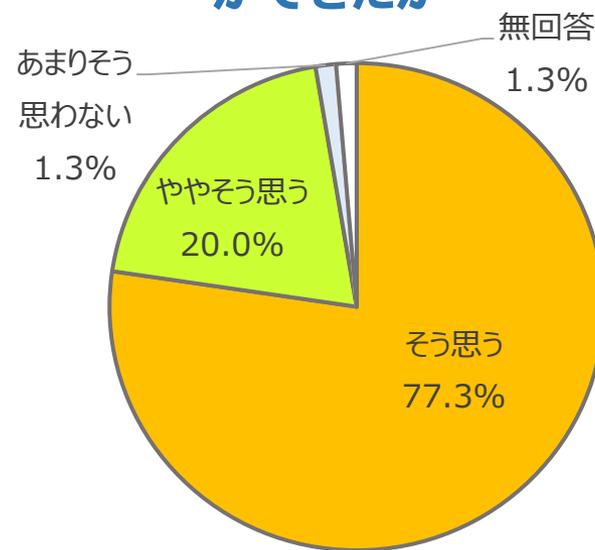
取組内容の理解度



業務への活用度



他区の区担当者やコーディネーターと意見交換をすることができたか



【区担当者説明会・合同研修会に対する意見】

- ・他区の取組や自区と共通した困りごとなどを知ることができた。
- ・他区では映画を作るなどの活動が行われているなど、自分の発想の枠を超えるような意見に触れてよかった。
- ・食育について考えたことがなかったので、今後考えていくようにしたい。
- ・区役所の担当者と顔を合わせて話が出来た事は今後動き易く、話せる関係になったと思います。
- ・区での先進的な取組を教えていただきたい。
- ・今後も引き続き他区との交流を続けていきたい。今回は自区の役所の方とお話しできたのが大きな収穫だったので、今後も行政の方との接触の場があると嬉しいです。
- ・会議や連絡会を行う上での人を集める方法やうまくいった例を聞きたいです。区の担当者を含めた話し合いもとても良かった。

開催予定

第2回 区役所担当者、コーディネーター合同研修会

【日 程】 令和7年12月予定

地域包括ケアシステム推進研修会（地域支援事業合同研修会）

【日 程】 令和7年11月予定